

小中一貫教育についてのQ&A

01 どうして小中一貫教育を導入するのですか？

近年、子どもたちを取り巻く環境は急激に変化しており、学校が抱える課題も多様化・複雑化し、これまで以上に学校間の連携や家庭・地域と協働した取組が必要な時代となっています。

恵庭市では、これまでの小中連携教育をさらに発展させ、小中の教職員が義務教育9年間で「目指す子ども像」の実現に向け、教育活動を一層充実させ、子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていくために小中一貫教育を導入します。

02 新しく義務教育学校が建設されるのですか？

小中一貫教育の導入を検討するに当たり、各中学校区などの児童生徒数の推移などを参考にしながら、9年間を学ぶ義務教育学校の設置についても検討してきました。

導入時に義務教育学校は新設されませんが、今後も継続して、検討を行っていくこととしています。

03 学年段階の区切りはどのようになりますか？

全国・全道の取組の中には、小学校6年、中学校3年といった学年の区切りを例えば「4-3-2」や「5-4」など、従前の小学校段階と中学校段階にまたがる区切りを設けている事例もありますが、本市においては、市外からの転入生の増加などを鑑み、導入時には現行の教育制度としての「6-3」制を継続することとしています。

04 小中連携教育と小中一貫教育はどこが違うのですか？

小中連携教育とは、小学校と中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校から中学校への円滑な接続を目指す教育を言います。

他方、小中一貫教育とは、小中連携教育のうち、小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を言います。

05 通う予定の学校が変更になるのですか？

小中一貫教育の導入時では、現行の通学区域や就学指定を変更せず、従前の扱いと同様です。

中・長期的には、児童生徒数の推移や施設設備の状況を鑑みながら、小・中学校区等の検討や小学校からの進学先中学校の検討など、必要な検討を行っていく予定です。

06 コミュニティ・スクール(CS)とはどのような関係がありますか？

CSは学校と地域をつなぐ仕組み、小中一貫教育は小・中学校の児童生徒間、教職員間をつなぐ取組です。これらの双方を関連付けることで、地域住民と教育課題や子育ての目標を共有することが可能となり、地域の思いや願いを生かしていくなど、「地域とともにある学校づくり」が可能となります。

保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

恵庭市においてはこれまで、恵庭市学校教育基本方針に示した「ふるさとに生き 夢と志をいだき 心豊かにたくましく伸びる 子どもの育成」といった教育理念の実現に向け、学校、家庭、地域、行政が一体となって質の高い教育の推進に取り組んでまいりました。

今後進められる小中一貫教育においては、次代を担う子どもたちを、これまで以上に社会全体で育てる機運を高めるとともに、9年間で育てたい子ども像を学校だけではなく、家庭や地域とも共有し、多くの目で子どもを見守り、特色ある学校づくり、安全で安心な学校づくりを進めてまいります。

「地域とともにある学校づくり」を充実させ、子どもの連続した学びを支える環境づくりを目指してまいりますので、引き続き、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問合せ先

恵庭市教育委員会教育総務課学務担当

〒061-1498 北海道恵庭市新町10番地

TEL0123-33-3131 (内線1613) Fax0123-33-3137

令和8年2月発行

令和9年4月

恵庭市

小中一貫教育がスタートします。

恵庭市では、義務教育9年間の学校教育の一層の充実を図り、子どもたちの学力・体力の向上、いじめ・不登校等の防止などを目的として、市内全ての市立小・中学校(小学校8校、中学校5校)で小中一貫教育を目指します。

小中一貫教育って、どのような教育なのですか？

小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、系統的な指導を行う教育です。



【小中一貫教育の成果(文部科学省)】

- ・授業が理解できると答える子どもの増加
- ・子どもの学習・生活規律の定着
- ・子どもの学校生活への満足度の向上
- ・進学に不安を覚える児童の減少
- ・教職員の指導方法の改善意欲の向上
- ・保護者や地域との協働関係の強化等

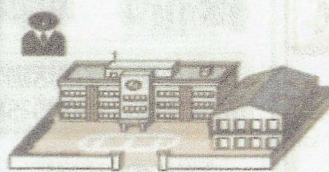


系統性・連続性のある9年間の教育

小中一貫教育を進める形態

①義務教育学校

- ・一つの学校で9年間継続して学習
- ・小学生段階と中学生段階が同じ校舎で生活
- ・校長は一人



②中学校併設型小学校・小学校併設型中学校

- ・独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
- ・小学校で6年間、中学校で3年間生活
- ・それぞれの学校に校長、教職員組織



※ ①②ともに施設の形態(一体型・隣接型・分離型)は問わない

恵庭市では、これまでの学校の形態と変わりのない②の形態(小学校8校、中学校5校)でスタートします。

恵庭市小中一貫教育の目標

小中一貫教育の目標は、次の5つの視点から構成されています。

- ①小学校及び中学校が目標を共有し、
- ②義務教育の9年間を一体的に捉えた系統性・連続性のある教育活動を展開するとともに、
- ③家庭・地域と連携した教育環境の構築を通じて、
- ④学力・体力の向上や生徒指導上の諸問題の解決等を図り、
- ⑤恵庭市学校教育基本方針に示された教育理念及びめざす子ども像の実現に資する。

恵庭市学校教育基本方針

小中一貫教育では、「ふるさと」を愛する心を基盤とし、「知育」「徳育」「体育」を学校教育の中核とする恵庭市学校教育基本方針の実現を目指します。

教育理念

ふるさとに生き 夢と志をいだき
心豊かに たくましく伸びる 子どもの育成

めざす子ども像

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 ふるさとに学び、ふるさとに生きる子ども | 2 夢と志をいだき、自ら進んで学ぶ子ども |
| 3 優しい心を持ち、共に生きる子ども | 4 たくましい心と体で、生き生きと活動する子ども |

基本方針1 中学校区での教育目標等の設定・共有

中学校区ごとに、中学校卒業時の子どもの姿として「目指す子ども像」を設定し、学校、家庭、地域で共有します。

【具体の取組例】

- ・目指す子ども像の設定・共有
- ・各種調査、諸検査等の結果の分析、共有、課題の明確化
- ・各学校における学校経営方針及びグランドデザインへの位置付け

8年間で目指す子ども像の具現化と評価目標

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
一歩の基礎をつくる			学びを深める			学びを深める		
通して学ぶ力を育てる 1 学習の楽しさや意義を伝える 2 学習習慣を身に付ける 読む力を育てる 1 読書の楽しさや意義を伝える 2 読書の習慣を身に付ける 書く力を育てる 1 書く楽しさや意義を伝える 2 書く習慣を身に付ける 算数・理科の基礎を築く 1 算数・理科の楽しさや意義を伝える 2 算数・理科の基礎を身に付ける			通して学ぶ力を育てる 1 学習の楽しさや意義を伝える 2 学習習慣を身に付ける 読む力を育てる 1 読書の楽しさや意義を伝える 2 読書の習慣を身に付ける 書く力を育てる 1 書く楽しさや意義を伝える 2 書く習慣を身に付ける 算数・理科の基礎を築く 1 算数・理科の楽しさや意義を伝える 2 算数・理科の基礎を身に付ける			通して学ぶ力を育てる 1 学習の楽しさや意義を伝える 2 学習習慣を身に付ける 読む力を育てる 1 読書の楽しさや意義を伝える 2 読書の習慣を身に付ける 書く力を育てる 1 書く楽しさや意義を伝える 2 書く習慣を身に付ける 算数・理科の基礎を築く 1 算数・理科の楽しさや意義を伝える 2 算数・理科の基礎を身に付ける		

目指す子ども像

基本方針2 義務教育9年間を見通した一貫した指導の展開

児童生徒の発達の段階ごとの課題を共有しながら、重点的・系統的教育課程を編成・実施します。

【具体の取組例】

- ・9年間を見通した教育課程の編成や教科における重点指導内容の設定
- ・学習規律や生活規律などにおける発達の段階を踏まえた一貫性のある指導
- ・ICT等の系統的な活用
- ・不登校児童生徒への対応の強化
- ・特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援の充実

算数・数学の系統表

学年	小学校	中学校
1年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
2年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
3年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
4年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
5年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
6年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
7年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
8年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係
9年生	算数 数の性質、数の関係	数学 数の性質、数の関係

基本方針3 子ども同士や教職員間の交流と協働

児童生徒間の交流や地域とのかかわりで豊かな人間関係やコミュニケーション能力の向上を図ります。また、教職員同士の協働体制を確立します。

【具体の取組例】

- ・相互乗り入れ指導や専科指導の充実
- ・相互授業参観や合同授業研究、校内研修等の実施
- ・中学校への体験入学等や多様な異学年交流の設定



中学校教員の小学校での授業

基本方針4 中学校区を基本とした豊かな教育環境づくり

地域の学校支援活動や学校の地域貢献活動など、地域の教育資源を活用した双方向にかかわる教育活動を充実します。

【具体の取組例】

- ・PTA活動の小中学校間連携・接続
- ・学校運営協議会、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動等の充実
- ・小中一貫教育に係る地域への情報発信



コミスク菜園